

ウオダス 漁海況速報 No.1422

発行日 平成17年7月1日 <http://www.applenet.jp/aosui/>
 発行 青森県水産総合研究センター TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778
 住所 〒038-2731 青森県西津軽郡鯉ヶ沢町大字赤石字大和田39-5

7月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
					①	2
3	4	5	⑥	7	8	9
10	⑪	12	13	14	15	16
17	18	⑨	20	⑲	22	23
24	25	⑲	27	28	29	30
31						

○スルメイカは津軽海峡の函館周辺で、アカイカは北緯38度、東経146度付近で、まとまった漁獲がありました。(太平洋海域イカ類一斉調査結果)
 ○対馬暖流域北部の表面水温は平年並みで経過 (平成17年度第2回日本海海況予報)

小泊 (6月16~20日)

スルメイカ	一本釣	114隻	17,190kg
ウスメバル	刺網	88隻	4,425kg
(7,115kg)	一本釣	123隻	2,690kg
タイ	刺網	1隻	5kg

下前 (6月26~30日)

スルメイカ	一本釣	72隻	10,450kg
ウスメバル	刺網	24隻	1,569kg
(1,842kg)	一本釣	17隻	273kg

鯉ヶ沢 (6月26~30日)

スルメイカ	底曳網	3隻	9,630kg
(19,444kg)	一本釣	32隻	9,814kg
タイ	底建網	7隻	28kg
(109 kg)	刺網	1隻	1kg
	一本釣	11隻	80kg
フクラゲ	定置網	1隻	3kg
(10 kg)	底建網	4隻	5kg
	一本釣	1隻	3kg
ウスメバル	底建網	5隻	7kg
(10 kg)	刺網	3隻	2kg
	一本釣	1隻	1kg
マアジ	底建網	3隻	21kg
クロマグロ	底建網	1隻	46kg

大戸瀬 (6月26~30日)

スルメイカ	一本釣	8隻	1,595kg
タイ	定置網	50隻	134kg
(218 kg)	底建網	71隻	84kg
サクラマス	定置網	8隻	9kg
(11 kg)	底建網	1隻	2kg
ブリ	定置網	34隻	394kg
(405 kg)	底建網	3隻	11kg
サバ	定置網	2隻	42kg
(50 kg)	底建網	4隻	7kg

深浦 (6月26~30日)

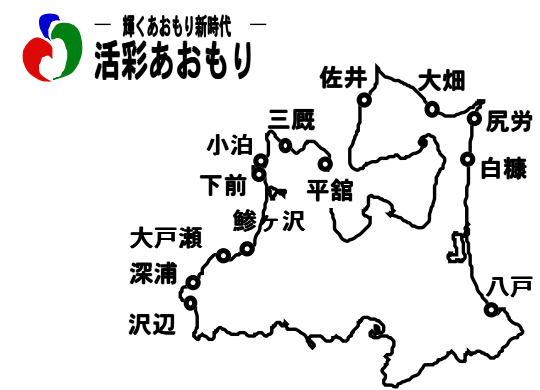
スルメイカ	一本釣	18隻	5,200kg
タイ	定置網	9隻	759kg
ブリ	定置網	15隻	14,023kg
クロマグロ	定置網	15隻	4,043kg

三厩 (6月26~30日)

スルメイカ	一本釣	45隻	13,575kg
ウスメバル	一本釣	22隻	282kg
ブリ	一本釣	3隻	21kg
ワラサ	刺網	2隻	4kg
(57 kg)	一本釣	8隻	52kg
フクラゲ	刺網	1隻	14kg
(21 kg)	一本釣	2隻	7kg
タイ	刺網	9隻	5kg
(52 kg)	延縄	6隻	47kg
アブラツノザメ	延縄	2隻	38kg

平館 (6月26~30日)

マイワシ	定置網	24隻	1,076kg
マアジ			111kg
マサバ			129kg
イナダ			49kg
タイ			166kg
スルメイカ			30kg



沢辺 (6月26~30日)

タイ	定置網	5隻	255kg
(263 kg)	底建網	3隻	8kg
ブリ	定置網	4隻	67kg
ワラサ	定置網	5隻	61kg
シヨッコ	定置網	5隻	4,075kg
ウスメバル	底建網	2隻	7kg
クロマグロ	定置網	2隻	85kg

佐井 (6月1~5日)

ヤリイカ	定置網	47隻	187kg
サクラマス	定置網	5隻	26kg
アブラツノザメ	刺網	21隻	674kg

(6月6~10日)

ヤリイカ	定置網	23隻	91kg
サクラマス	定置網	6隻	49kg
(51 kg)	刺網	1隻	2kg
アブラツノザメ	刺網	42隻	811kg

(6月11~15日)

ヤリイカ	定置網	5隻	13kg
サクラマス	定置網	4隻	22kg
(26 kg)	刺網	1隻	4kg
アブラツノザメ	刺網	27隻	421kg

(6月16~20日)

ヤリイカ	定置網	1隻	8kg
サクラマス	定置網	4隻	10kg
(12 kg)	刺網	1隻	2kg
アブラツノザメ	刺網	1隻	4kg

大畑 (6月1日~6月30日)
(取りまとめ中)

尻労 (6月21~25日)

メジマグロ	定置網	8隻	856kg
クロマグロ	定置網	1隻	47kg
スルメイカ	定置網	4隻	4,600kg
(5,340kg)	一本釣	8隻	740kg
ウスメバル	底建網	20隻	2,803kg
ブリ	定置網	2隻	24kg
マサバ	定置網	3隻	240kg

白糠 (6月6~30日)
(取りまとめ中)

八戸 (6月26~30日)

スルメイカ	一本釣	4隻	270kg
サケ他	定置網	7隻	1,537kg

主要魚種の動き

○スルメイカ (一本釣・6月26~30日)

(日本海)	今回	前回は	漁期累計(5月~)	昨年同期比
小泊	17,190kg	65%	232,780kg	49%
下前	10,450kg	75%	119,448kg	43%
鯉ヶ沢	9,814kg	86%	69,871kg	117%
深浦	5,200kg	134%	37,330kg	32%
(津軽海峡)				
三厩	13,575kg	152%	67,750kg	85%
(太平洋)				
八戸	270kg	36%	1,015kg	0%

○ウスメバル (全漁法・6月26~30日)

(日本海)	今回	前回は	漁期累計(4月~)	昨年同期比
小泊	7,115kg	80%	73,964kg	86%
下前	1,842kg	80%	27,756kg	97%
(津軽海峡)				
三厩	282kg	126%	4,737kg	51%
(太平洋)				
尻労	2,803kg	72%	18,489kg	40%

尻労は6/25まで

○ブリ (全漁法・6月26~30日)

(日本海)	今回	前回は	漁期累計(5月~)	昨年同期比
鯉ヶ沢	10kg	38%	740kg	437%
大戸瀬	405kg	237%	24,494kg	668%
深浦	14,023kg	82%	332,068kg	1269%
沢辺	4,203kg	161%	42,887kg	1300%
(太平洋)				
尻労	24kg	-	24kg	-

尻労は6/25まで

○タイ (全漁法・6月26~30日)

(日本海)	今回	前回は	漁期累計(4月~)	昨年同期比
小泊	5kg	6%	14,721kg	125%
鯉ヶ沢	109kg	56%	5,798kg	65%
大戸瀬	218kg	55%	10,299kg	56%
深浦	759kg	201%	31,476kg	177%
沢辺	263kg	376%	6,456kg	111%
(津軽海峡)				
三厩	52kg	31%	690kg	79%
(陸奥湾)				
平館	166kg	20%	4,901kg	54%

沿岸各地の水温

日本海 19 ~ 21 °C台
陸奥湾 17 ~ 19 °C台

今期は全海域で昇温しました。平均前回差は+0.8度となりました。

昨年と比べると各地とも低く、太平洋側では-1.0度となっています。平均昨年差は-0.4度です。

平年と比べると日本海側、陸奥湾でやや高め、津軽海峡、太平洋側で平年並みとなり、平均昨年差は+0.8度となり、前回の平年並みからやや高めの傾向になりました。

(6月26日~30日)
津軽海峡 14 ~ 17 °C台
太平洋 13 ~ 17 °C台

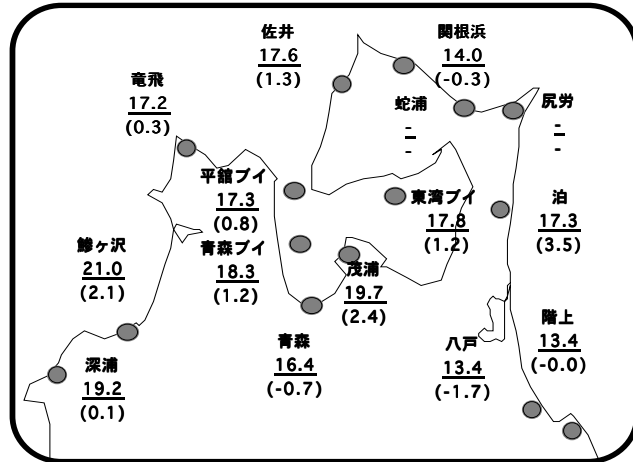


図 定地水温 (6月26~30日)
平均値 (平年差) プイ1 m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深 浦	19.2	+0.1	-1.1	+2.1
鯨ヶ沢	21.0	+2.1	+1.0	-0.1
竜 飛	17.2	+0.3	-0.3	+1.1
佐 井	17.6	+1.3	-0.3	+2.0
青 森	16.4	-0.7	-0.8	+1.6
蛇 浦	-	-	-	-
関根浜	14.0	-0.3	-0.9	-0.3
尻 労	-	-	-	-
泊	17.3	+3.5	+2.9	+4.2
八 戸	13.4	-1.7	-4.0	-4.4
階 上	13.4	-0.0	-1.7	+1.2
茂 浦	19.7	+2.4	+0.0	+0.2
平館ヱ	17.3	+0.8	-0.2	+1.1
青森ヱ	18.3	+1.2	+0.3	+0.8
東湾ヱ	17.8	+1.2	+0.2	+0.3
平均	17.1	+0.8	-0.4	+0.8

太平洋の海況 (6月29~30日)

概況；沿岸水温は14~16°C台。

○太平洋沿岸域の表面水温 14°C台で、前回に比べ下北半島北部で1~2度昇温しました。昨年同期とほぼ同程度の水温となっています。

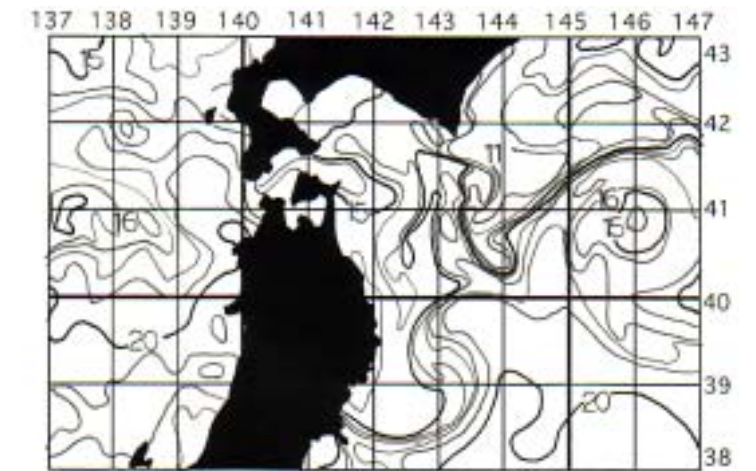
○津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し 14°C等温線でみると東経142度30分付近までで、張り出しは前回と変わっていません。

○親潮系冷水の南下 14°C等温線でみると北緯39度40分付近までで、張り出しは前回よりかなり弱くなりました。

日本海の海況 (6月29~30日)

概況；沿岸水温は19~21°C台。

○日本海沿岸域の表面水温 17~20°C台で、前回より1度から2度降温しました。昨年同期と比較すると1度ほど高い水温となっています。



資料：(社) 漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況速報 第26号 7月1日

◎試験船情報

●試験船開運丸は4日から8月8日までの予定で、北太平洋沖合のあかいか資源調査を行う予定です。

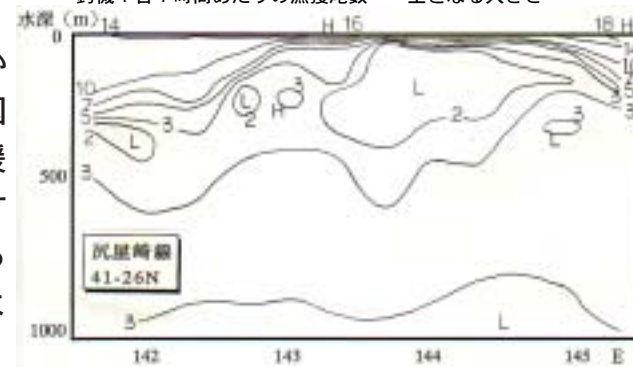
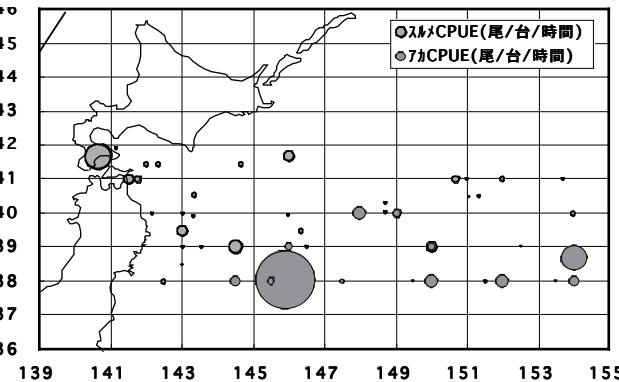
●試験船青鵬丸は今週、日本海沿岸の高層魚礁の調査を行う予定です。

●試験船東奥丸は太平洋の定線観測及びイカ類一斉調査を終えています。6月27日の調査結果を下の表に示します。また、この結果を含む太平洋海域イカ類一斉調査が終了しましたので右図に示します。スルメイカは津軽海峡の函館周辺で、アカイカは北緯38度、東経146度付近でまとまった漁獲がありました。この結果を基に7月中旬頃に第1回目のスルメイカ漁況予報が出されることになっています。

東奥丸いか類漁場一斉調査 (太平洋)

操業月日	操業位置	漁獲尾数(*)	魚体	表面水温
6月27日	40-32 143-20	スルメ1尾 (0.2) タコイカ2 ツメイカ7	14cm	17.5°C
6月27日	40-32 143-00	0	-	15.0°C

*釣機1台1時間あたりの漁獲尾数 **主となる大きさ



同時に行った海洋観測結果から尻屋崎東方の水温鉛直断面図を右の図に示しました。津軽暖流の張り出しは昨年と同様ですが、東経144度付近にみられる2°C以下の冷水の分布が昨年より広がっていました。

◎平成17年度第2回日本海海況予報

日本海区水産研究所は6月28日、関係機関の情報をとりまとめ標記の情報を発表しました。その概要は次のとおりです。(関係部分のみ・予報対象期間は2005年7月から9月) ○大和堆沖の暖水域は、ほぼ停滞する。能登半島北西の暖水域は、徐々に東~北東に移動する。佐渡島北及び佐渡島北西の暖水域は、北東に移動して一つにまとまる。舩作崎沖の暖水域は消滅する。○佐渡島沖の冷水域の張り出しは、やや弱い。入道崎沖の冷水域の張り出しは、弱い。○対馬暖流域の表面水温は北部では”平年並み”で経過する。○対馬暖流域の50m深水温は”やや高め”で経過する。